

西国街道

広島県海田町と

自然と歴史が息づくまち、海田。
西国街道には、今もいにしへの面影が
あちこちに残っています。
さまざまな時代の人々の営みを
ゆつくりとたどってみませんか。

昭和初期の海田市の町並み



(写真提供：海田町教育委員会)

江戸時代、近世山陽道は「西国街道」と呼ばれ、京都と大宰府を結ぶ重要な街道として宿駅や一里塚、街道松が整備されていました。参勤交代の大名たちや多くの旅人、商人が賑やかに行き来したであろうこの道下は、町並みや小路に今でもその面影をみることができます。

西国街道とは

海田町は、古くは山陽道の宿場町として栄え、戦後も交通の要衝として発展してきました。
その歴史は古く、人々が住みはじめたのは、約一万年前から考えられ、貝塚や古墳など多くの遺跡が確認されています。
「かいた」という名が初めて記録に出るのは、平安時代の終わりに頃。その頃は「開田」といわれ、中世になると市場と港の機能を兼ね備えたまちとして賑わいました。
江戸時代に西国街道が整備されると、海田市はその宿駅の一つとして発展します。
近代以降は、山陽本線・呉線と二つの鉄道線路や国道が整備され、交通の要衝として、また工業都市として独自の発展を遂げてきました。

海田町の歴史

ガイドのご案内

『西国街道・海田市ガイドの会』による西国街道の歴史資源をめぐるガイドツアーを行っています。平成23年から活動しているベテランガイドが案内します。

【定期ガイド日時】

- ◆西国街道・海田市めぐり
往復約1.5km
毎月第4土曜日13時～(2時間半程度)
(7・8月は9時～)
- ◆西国街道・東海田と瀬野川めぐり
往復約4.5km
毎月第3土曜日9時30分～(2時間半程度)

【集場所】 JR海田市駅北口

【定 員】 20名先着順

【参 加 費】 100円／1人

【申込み・問合せ】 海田町魅力づくり推進課

※5人以上のグループであれば、希望の日程でガイドができますので、相談してください。



JR広島駅から山陽本線または呉線で海田市駅まで約8分



発行

海田町企画部魅力づくり推進課

〒736-8601

広島県安芸郡海田町上市14番18号

TEL.082-823-9234 FAX.082-823-9203

E-mail:miryoku@town.kaita.lg.jp

江戸時代の建築

3 明顕寺



享保年間に鋳物師 植木源兵衛が制作した梵鐘や、第二次長州戦争で戦死した越後高田藩士34名の墓があります。

4 三宅家住宅



江戸時代後期の商家建築である主屋をはじめ、衣熨蔵・新蔵・古米蔵・新米蔵・裏長屋門は国の登録有形文化財。

9 熊野神社



現在の拝殿は文政8年(1825年)の建築で、県下最大級の規模を誇ります。幣殿には、三十六歌仙の絵馬が掲げられており、幣殿が開いているときには見学することができます。

5 旧千葉家住宅



西国街道の宿場町として栄えた海田で宿駅の要職を務めた千葉家の旧宅です。江戸時代中期の座敷棟・庭園は県指定文化財。

※一般公開日 第2・第4土曜日の前日から連続する4日間

※公開時間 10時～16時

※見学料 無料